

自然の家たより

令和8年
1月30日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団）
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933

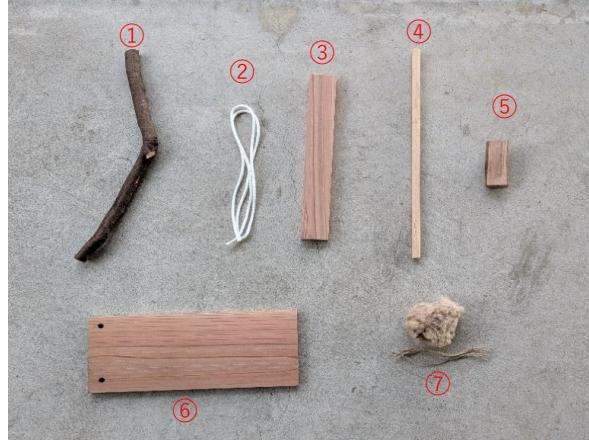
岐阜市山県北野2081番地

[岐阜市少年自然の家](#) [検索](#)

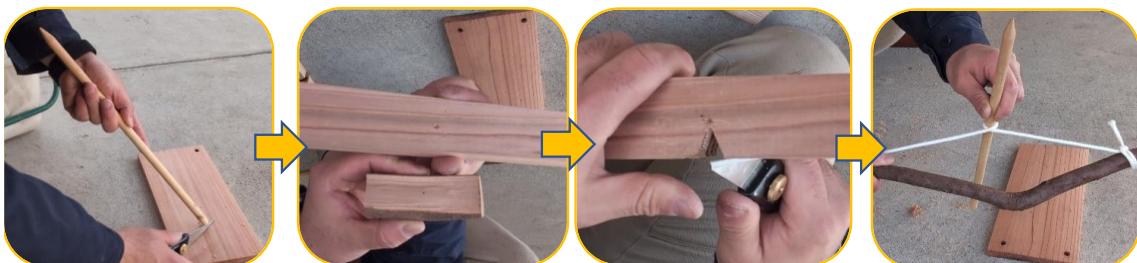
みなさん、マッチやライターを使わずに火をおこしたことはありますか？
自然の家のプログラムでは、「舞きり式」の火おこしを行っていますが、今回は、さらに難易度が高いと
いわれている「弓ぎり式」で火おこしにチャレンジしてみました。

じゅんび 準備するもの

- ①弓（ほどよく曲がって丈夫な枝）
- ②丈夫なロープ
- ③火きり板（杉板）
- ④火きり棒（丸棒や、アジサイなどの乾燥した枝や茎）
- ⑤押さえ木
- ⑥受け板
- ⑦火口（麻ひもをほぐしたものなど）



ひてじゅん 火おこしの手順



①火きり棒の両端を小刀などで整えます。
下側はやや丸みを持たせます。上側は尖らせるとよいです。

②小刀などを使って、火きり板と押さえ木の中央に穴を掘ります。
深さは5mm程度で十分です。

③火きり板の穴に向かって、三角の切れ込みを入れます。
40度程度の切れ込みを入れるとよいです。

④弓にロープを取り付けて、火きり棒に一巻きします。
その際に、ロープがピンと張るように調整します。



⑤足で火きり板を固定し、押さえ木で火きり棒を上から押さえます。
弓を大きく往復させ、一定のリズムで回し続けます。

⑥煙が濃くなってきたらさらにスピードを速めます。
切れ込みからあふれるほど煙が出たら、手で優しく仰いで火種を大きくします。

⑦火口の中央に火種を乗せて優しく包みこみます。下から上へ長く息を吹き込みます。
真っ白な煙に包まれた直後、ボツと炎が上がれば成功です！

火をおこした時の喜びは別格ですが、火は一瞬で大きな事故につながる怖さももっています。
体験する際は、必ず大人の人と一緒に、周りに燃えやすいものがない場所で行いましょう。
また、完全に火が消えたことを確認することも重要です。安全に、楽しく挑戦してください！